

F W D

(Falling Weight Deflectometer)

FWDとは、舗装路面に衝撃荷重（標準49kN）を与え、この時路面に生じるたわみ量を、載荷点からの距離が異なる複数の変位センサによって測定し、得られたたわみ曲線から舗装構造を非破壊で評価する診断技術です。



特徴

- 舗装を傷つけることなく舗装体の健全度や路床のCBRを評価できます。
- 多くの地点を測定することで、補修が必要な区間や層の特定が可能です。
- たわみを逆解析することで、舗装構成層の残存TAや弾性係数を求めることができます。



本 社 新潟市中央区川岸町1丁目53番地3 TEL 025-231-1371
試験室 新潟市西蒲区大潟2031番地 TEL 0256-70-4012

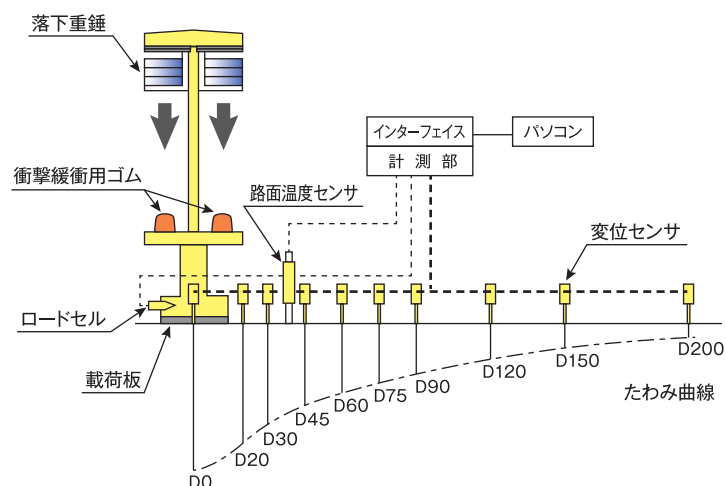
FWDの諸元 (車両搭載型)

FWDはオランダのGrontmij社製で、ワンボックスカーに載荷板・重錘・荷重測定装置・たわみ測定センサが積載されています。

車 体：フォルクスワーゲン
車 両 総 重 量：3,040kg
車 両 寸 法：長さ489cm、幅191cm、高さ242cm
FWD装置製造元：オランダ Grontmij社
載 荷 方 式：単重載荷方式、載荷板直径300mm (4分割)
荷 重 セ ン サ：ロードセル、荷重範囲7~150kN
た わ み セ ン サ：ジオフォン10個
温 度 セ ン サ：気温、路面 (非接触)



たわみ測定システム



用 途

既設舗装の調査業務や工事受注後の工法提案などに際し、路床及び舗装体性状を迅速に把握するために用います。